

令和2年度

富山県東部消防組合一般会計  
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和3年6月30日

富山県東部消防組合  
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合  
監査委員 水野 勝行

監査委員 杉田 雅史

令和2年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された令和2年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

## 令和2年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

### 1 審査の対象

#### (1) 歳入歳出決算書

令和2年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

#### (2) 付属書類

令和2年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和2年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

令和2年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

### 2 審査の期日と場所

期日 令和3年6月30日

場所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

### 3 審査の方法

審査は、令和2年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

### 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

### 5 決算の概要

令和2年度の一般会計の決算額は、予算総額1,220,003,000円に対し、歳入1,216,060,766円(予算対比99.7%)、歳出1,157,629,337円(予算対比94.9%)であり、差引形式収支額は58,431,429円である。前年度決算額と比較して歳入で61,399,601円の減、歳出で80,184,583円の減となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は58,431,429円となり、翌年度へ繰り越すべき財源は4,331,000円、実質収支54,100,429円の黒字となった。

なお、当年度実質収支54,100,429円から前年度実質収支39,646,447円を差し引いた当年度の単年度収支は14,453,982円の黒字となっている。

新型コロナウイルスの流行により、当初予定した事業の中止をしたものがある。

## 決算収支状況

(単位:円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
2	一般	1,216,060,766	1,157,629,337	58,431,429	4,331,000	54,100,429	39,646,447	14,453,982
	計	1,216,060,766	1,157,629,337	58,431,429	4,331,000	54,100,429	39,646,447	14,453,982
元	一般	1,277,460,367	1,237,813,920	39,646,447	0	39,646,447	41,211,616	△ 1,565,169
	計	1,277,460,367	1,237,813,920	39,646,447	0	39,646,447	41,211,616	△ 1,565,169
増 減	一般	△61,399,601	△80,184,583	18,784,982	4,331,000	14,453,982	△ 1,565,169	16,019,151
	計	△61,399,601	△80,184,583	18,784,982	4,331,000	14,453,982	△ 1,565,169	16,019,151

なお、令和2年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
消防ネットワークシステム更新	リース期間終了に伴い、各システムの改修及び再更新を行った。(R2.10月予定が、社会的な部品不足によりR3.3月サービス開始)
消防内部情報系システム更新	リース期間終了に伴い、令和元年度に更新した内部情報系システムのリース料の増額。(令和元年度6か月分→令和2年度12か月分)
消防本部女子更衣室シャワーユニット工事	2階更衣室にシャワーユニットを設置した。
30m級はしご付き消防ポンプ自動車整備事業	現在の不具合部分及び消耗品等を交換修繕することにより、事故・故障を未然に防止し、災害時に対応するもの。
滑川消防署デジタル無線基地局改修工事	無線基地局を改修し、滑川漁港付近一帯の無線の不感地帯が解消された。

## 6 一般会計

令和2年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,216,060,766円（予算対比 99.7%）

歳出 1,157,629,337円（予算対比 94.9%）

この差引残額（形式収支）58,431,429円から、翌年度へ繰り越すべき財源は4,331,000円、実質収支54,100,429円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支54,100,429円から前年度実質収支39,646,447円を差し引いた当年度の単年度収支は14,453,982円の黒字となっている。

### (1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
2年度	1,220,003,000	1,216,060,766	1,216,060,766	0	0	99.7%	100.0%
元年度	1,278,344,000	1,277,460,367	1,277,460,367	0	0	99.9%	100.0%

#### ① 収入状況

予算額に対する収入割合は99.7%であり、前年度収入済額と比較して61,399,601円の減となっている。

収入の内訳は、分担金及び負担金で、収入額は1,167,114,553円で全体の96.0%を占めている。以下、使用料及び手数料が1,547,250円で0.1%、県支出金が7,547,842円で0.6%、繰越金が39,646,447円で3.2%、諸収入が204,674円で0.1%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

### 収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,171,446,000	1,167,114,553	1,167,114,553	96.0	99.6	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	1,312,000	1,547,250	1,547,250	0.1	117.9	100.0	0	0
3. 県支出金	7,400,000	7,547,842	7,547,842	0.6	102.0	100.0	0	0
4. 繰越金	39,647,000	39,646,447	39,646,447	3.2	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	198,000	204,674	204,674	0.1	103.4	100.0	0	0
計	1,220,003,000	1,216,060,766	1,216,060,766	100.0	99.7	100.0	0	0

## ② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は41,398,371円、依存財源は1,174,662,395円となっており、その構成比は、自主財源3.4%、依存財源96.6%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源99.2%、特定財源0.8%となっている。

### 第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
2年度	1,171,446,000	1,167,114,553	1,167,114,553	0	0	99.6%	100.0%
元年度	1,165,101,000	1,165,100,384	1,165,100,384	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,167,114,553円で、歳入総額に占める割合は全体の96.0%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市502,657,360円、滑川市351,917,531円、上市町262,832,046円、舟橋村49,707,616円となっている。

### 第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
2年度	1,312,000	1,547,250	1,547,250	0	0	117.9%	100.0%
元年度	1,312,000	1,514,350	1,514,350	0	0	115.4%	100.0%

収入済額は1,547,250円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分343,500円、滑川市分944,400円、上市町分258,450円、防火管理講習修了証再交付手数料等900円となっている。

### 第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
2年度	7,400,000	7,547,842	7,547,842	0	0	102.0%	100.0%
元年度	7,621,000	7,526,827	7,526,827	0	0	98.8%	100.0%

収入済額は7,547,842円で、歳入総額に占める割合は全体の0.6%となっており、収入済額の内訳は、県消防学校派遣職員負担金となっている。

#### 第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
2年度	39,647,000	39,646,447	39,646,447	0	0	100.0%	100.0%
元年度	41,212,000	41,211,616	41,211,616	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は39,646,447円で、歳入総額に占める割合は全体の3.2%となっており、収入済額の内訳は、令和元年度繰越金となっている。

#### 第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
2年度	198,000	204,674	204,674	0	0	103.4%	100.0%
元年度	198,000	907,190	907,190	0	0	458.2%	100.0%

収入済額は204,674円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料97,230円、講習会場提供謝礼60,000円、気象観測謝礼32,100円、その他15,344円となっている。

### (2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	1,220,003,000	1,157,629,337	4,331,000	58,042,663	94.9%
元年度	1,278,344,000	1,237,813,920	0	40,530,080	96.8%

#### ① 支出状況

予算額に対する執行率は94.9%であり、前年度支出済額と比較して80,184,583円の減となっている。

#### イ 支出の内訳

組合議会費252,298円、組合運営費118,705円、監査委員費61,921円、職員給与費860,317,986円、消防本部運営費98,131,459円、魚津署運営費18,789,762円、滑川署運営費12,160,311円、上市署運営費13,825,498円、舟橋分遣所運営費2,778,508円、消防本部施設整備費3,328,550円、魚津署施設整備費1,507,000円、滑川署施設整備費1,756,260円、起債償還元金140,256,000円、起債償還利子4,345,079円である。

支出状況は、次の表のとおりである

## 支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	252,298	0.0%	27.6%	0	660,702
2. 総務費	344,000	180,626	0.0%	52.5%	0	163,374
3. 消防費	1,072,702,000	1,012,595,334	87.5%	94.4%	4,331,000	55,775,666
4. 公債費	145,044,000	144,601,079	12.5%	99.7%	0	442,921
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,220,003,000	1,157,629,337	100.0%	94.9%	0	58,042,663

### ロ 性質別の内訳

義務的経費では、人件費で850,785千円(73.5%)、物件費で133,627千円(11.5%)、維持補修費で3,263千円(0.3%)、扶助費で11,635千円(1.0%)、補助費等で10,871千円(0.9%)、公債費で144,601千円(12.5%)、義務的経費全体では1,154,782千円となり、決算総額の99.7%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で2,847千円となり、決算総額の0.3%を占めている。



## 性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	2年度決算額	構成比
1 人件費	850,785	73.5%
2 物件費	133,627	11.5%
3 維持補修費	3,263	0.3%
4 扶助費	11,635	1.0%
5 補助費等	10,871	0.9%
6 公債費	144,601	12.5%
うち元金	140,256	12.1%
うち利子	4,345	0.4%
計	1,154,782	99.7%
7 投資的経費	2,847	0.3%
普通建設事業	2,847	0.3%
うち単独事業	2,847	0.3%
歳出合計	1,157,629	100.0%

### 第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	913,000	252,298	0	660,702	27.6%
元年度	913,000	767,674	0	145,326	84.1%

支出済額は252,298円で、歳出総額に占める割合は全体の0.02%となっている。

不用額は660,702円で、予算額に対する執行率は27.6%となっている。

執行率低下の要因は、新型コロナウイルスの流行のため、議員消防行政視察を中止したことによるものである。

### 第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	344,000	180,626	0	163,374	52.5%
元年度	344,000	186,006	0	157,994	54.1%

支出済額は180,626円で、歳出総額に占める割合は全体の0.02%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費118,705円、監査委員費61,921円となっている。

不用額は163,374円で、予算額に対する執行率は52.5%となっている。

### 第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	1,072,702,000	1,012,595,334	4,331,000	55,775,666	94.4%
元年度	1,148,794,000	1,109,798,618	0	38,995,382	96.6%

支出済額は1,012,595,334円で、歳出総額に占める割合は全体の94.4%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費860,317,986円、消防本部運営費98,131,459円、魚津署運営費18,789,762円、滑川署運営費12,160,311円、上市署運営費13,825,498円、舟橋分遣所運営費2,778,508円、消防本部施設整備費3,328,550円、魚津署施設整備費1,507,000円、滑川署施設整備費1,756,260円となっている。

翌年度繰越額は4,331,000円で、舟橋救急用自動式心臓マッサージシステム購入事業となっている。

不用額は55,775,666円で、予算額に対する執行率は94.4%となっている。

### 第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	145,044,000	144,601,079	0	442,921	99.7%
元年度	127,293,000	127,061,622	0	231,378	99.8%

支出済額は144,601,079円で、歳出総額に占める割合は全体の12.5%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金140,256,000円、起債償還利子4,345,079円である。

不用額は442,921円で、予算額に対する執行率は99.7%となっている。

なお、令和3年3月末現在で、起債償還残高は元金で750,102千円となっている。

### 第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
2年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
元年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

令和2年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

## 7 財産管理

### (1) 土地について

該当なし

### (2) 建物について（令和2年度中の異動なし）

本部通信指令センター	延床面積579.01㎡
上市消防署舟橋分遣所	延床面積273.04㎡
天神山基地局	延床面積 5.85㎡

### (3) 物品について（令和2年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数 量
(本部)	緊急消防援助隊用スチールチェーンソールートカッター	1
(魚津署)	空気呼吸器	2
	潜水用器具(ウェットスーツ)	2
	消防署現場用ホース(50mm×20m)	5
	AEDトレーナー2	2
(滑川署)	スケッドストレッチャー	1
	LED喉頭鏡	1
(上市署)	空気呼吸器	1
	空気呼吸器用ボンベ(530CⅢAZ)	2
	消防署現場用ホース(65mm×20m)	5
	ノートパソコン(Dynabook)	1

## 8 意見

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定していた事業の中止が見られた。防災・消防・救急活動等に対しては感染防止対策に万全を期され、感染拡大防止と感染リスクからの保護に努められたい。

全体として、予算の執行はおおむね適正であると認められるが、一部の事業において、予算に対し、支出額が乖離しているものが見受けられる。様々な要因があるとは思いますが、予算を適切に計上し、その事業の目的が最大限に生かされるような執行に努められたい。

なお、契約事務については、入札・随意契約によるもの問わず、適正かつ厳正に実施し、地域住民の疑惑を招くことのないよう対応されたい。

## 9 むすび

以上、令和2年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等はいずれも関係法令に準拠して作成され、決算内容、予算執行状況についても適正に処理されていた。

また、本部、各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かし、一層の経費削減、費用対効果を図り、合理的、効率的な予算執行となるよう努められたい。

コロナ下での厳しい社会情勢ではあるが、消防本部や各消防署間の人事交流を深め、更なる一体感を醸成し、地域社会の安全安心と地域住民の生命と財産を守るべく社会的使命を果たされるよう消防力・救急力の強化に努められたい。